

マネジメントシステム認証機関
に対する認定の補足基準
－航空宇宙品質マネジメントシステム－

JAB MS101:2020

第 14 版：2020 年 5 月 29 日

第 1 版：2007 年 5 月 11 日

公益財団法人日本適合性認定協会

序文

この基準は、JIS Q 9100 航空宇宙品質マネジメントシステムの審査及び認証を行うマネジメントシステム認証機関に対する固有の要求事項を規定するために、2012年に発行された SJAC9104-1 を基に技術的内容を変更することなく、かつ、JIS Q 17021-1 の構成に従って作成したものである。

IAQG (International Aerospace Quality Group) は、その活動において、国際的に一致する品質マネジメントシステム規格 (AS 9100、EN 9100、JIS Q 9100) を制定し、また、この品質マネジメントシステム規格に基づいたマネジメントシステムを審査、認証するための要求事項、並びに当該審査、認証制度を管理するための要求事項を規定する “IAQG 9104-1 : Requirements for Aviation, Space, and Defense Quality Management System Certification Programs” を制定した。

SJAC9104-1 は、IAQG 9104-1 の日本語版として日本航空宇宙工業会 (SJAC) が作成、発行した規格であり、IAQG によって他の IAQG セクターが発行した同種規格との同等性が確認されたものである。

1. 適用範囲

この基準は、JIS Q 9100 「品質マネジメントシステム－航空、宇宙及び防衛分野の組織に対する要求事項」に基づくマネジメントシステムの審査及び認証の能力、一貫性及び公平性、並びにこれらの審査及び認証を行う第三者適合性評価機関（以下、「認証機関」という）に対する原則及び要求事項を規定する。

この基準は、公益財団法人 日本適合性認定協会（以下、「本協会」という）が認証機関を審査し認定するために使用する。

備考：この基準は、JIS Q 17021-1との関係において、JIS Q 17011の7.1.2 b)で規定されている航空、宇宙及び防衛に係る認定分野に特有の「認定の要求事項を記載した文書」にあたる。

2. 引用文書

次に掲げる文書は、この基準に引用されることによって、この基準の規定の一部を構成する。この項に掲げる文書のうちで、西暦年又は改正版を付記してあるものは、記載の年版又は版を適用し、その後の改正版(追補を含む)には適用しない。西暦年又は改正版の付記のない文書は、その最新版(追補を含む)を適用する。本協会の文書の最新版は、本協会ウェブサイト (www.jab.or.jp) で閲覧及びダウンロード可能。

JIS Q 9000	品質マネジメントシステム－基本及び用語
JIS Q 9001	品質マネジメントシステム－要求事項
JIS Q 9100:2016	品質マネジメントシステム－航空、宇宙及び防衛分野の組織に対する要求事項
JIS Q 17000	適合性評価－用語及び一般原則
JIS Q 17011	適合性評価－適合性評価機関の認定を行う機関に対する一般要求事項

SJAC 9101F	品質マネジメントシステム 航空、宇宙及び防衛分野の組織に対する審査要求事項
SJAC 9104-1	航空、宇宙及び防衛分野の品質マネジメントシステム認証プログラムに対する要求事項
SJAC 9104-2A	航空宇宙 品質マネジメントシステム 登録/認証プログラムのオーバーサイトに対する要求事項
SJAC 9104-3	航空宇宙審査員の力量及び研修コースに関する要求事項
JRMC12-018	SJAC 9104-1 適用に伴う補足規定について
IAQG OPMT 運用手順 204	
IAQG OPMT ICOP レゾリューション	
JIS Q 17021-1:2015 (ISO/IEC 17021-1:2015)	適合性評価—マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項—第1部：要求事項
JAB MS200	マネジメントシステム認証機関の認定の手順
IAF MD1	IAF Mandatory Document for the Audit and Certification of a Management System Operated by a Multi-Site Organization
IAF MD2	IAF Mandatory Document for the Transfer of Accredited Certification of Management Systems
IAF MD4	IAF Mandatory Document for the Use of Information and Communication Technology (ICT) for Auditing/Assessment Purposes
IAF MD5	Determination of Audit Time of Quality and Environmental Management Systems
IAF MD11	IAF Mandatory Document for Application of ISO/IEC 17021 for Audits of Integrated Management Systems (IMS)

備考：この基準の 5 以降の本文に対応する SJAC 9104-1 の条項番号、OPMT ICOP レゾリューション番号、及び/又は根拠文書を【 】で囲んで表示している。

3. 用語及び定義

この基準で用いる主な用語の定義は、JIS Q 17021-1、JIS Q 9000、JIS Q 9001、JIS Q 9100、JIS Q 17000 及び JIS Q 17011 によるほか、SJAC 9104-1 及び SJAC 9101 による。

4. 原則

原則は、JIS Q 17021-1 による。

5. 一般要求事項

一般要求事項は、 JIS Q 17021-1 によるほか、次による。

5.1 認証機関は、JIS Q 17021-1、IAF MD1、IAF MD2、IAF MD4、IAF MD5、IAF MD11に規定する要求事項に加え、この基準、SJAC 9101の適用版、SJAC 9104シリーズ（SJAC 9104-1,-2A,-3）、JRMCI2-018、IAQG OPMT 運用手順204、及びIAQG及び航空宇宙審査登録管理委員会（以下、「JRMCI」という）によるICOP（Industry Controlled Other Party）スキームのOPMT（Other Party Management Team）Resolution（IAQG OPMT ICOP レゾリューション）に含まれる、認証機関に対するすべての要求事項に適合することを確実にしなければならない。【6.6】

5.2 認証機関は、JIS Q 9100品質マネジメントシステム認証(以下、「JIS Q 9100認証」という)に係る認定を維持するため、JIS Q 17021-1に基づくJIS Q 9001品質マネジメントシステム認証(以下、「JIS Q 9001認証」という)に係る認定を維持しなければならない。【6.3】

5.3 認証機関及び同じ法人のいかなる部門も、その組織の一部として、マネジメントシステムコンサルティングをもってはならない。また、品質マネジメントシステム又は航空宇宙品質マネジメントシステムのコンサルティングを申し出たり、提供してはならない。また、認証の対象となる組織に対して内部監査を行ってはならない。マネジメントシステムに関連する活動の終了から最低限2年間、いかなるマネジメントシステムのコンサルティング又は内部監査を実施しているいかなる個人又は組織と認証機関との間に許容できない関係がある場合又は認証プロセスに対する許容できない脅威がある場合、認証機関は、当該マネジメントシステムを認証してはならない。2回以上の予備審査は、コンサルティングと見なさなければならない。【6.7 k】

5.4 認証機関は、認証機関又は組織のJIS Q 9100認証の運営に影響する、IAQG OPMT ICOP レゾリューションを入手し、レビューし、実施するプロセスを文書化しなければならない。
なお、このレゾリューションにより、この基準又はJAB MS200に見直しが必要になった場合、本協会は、その内容を認証機関に通知する。【6.7 e)、JRMCI2-018】

6. 組織運営機構に関する要求事項

組織運営機構に関する要求事項は、JIS Q 17021-1 によるほか、次による。

6.1 機関は、SJAC 9104シリーズ要求事項の実施に対する全般的な責任を持つ単一の事務所（以下、登録事務所という）の所在地を特定しなければならない。SJAC 9104シリーズの実施の設計、開発及び維持に関する機関の登録事務所の責任及び

権限は、機関の登録事務所に雇用されている、又は直接契約している一人又は複数の要員を介さなければならない。機関は、この要員を正式に特定しなければならない。【5.3 b)】

- 6.2 認証機関は、航空宇宙品質マネジメントシステム審査員（以下、「審査員」という）に対する初回の資格付与及びパフォーマンス監視、申請のレビュー、審査チームの指名、報告書のレビュー、認証の決定及び認証文書の発行を含む、JIS Q 9100認証活動のすべてが、認証機関の登録事務所に雇用又は直接契約した（すなわち、認証機関と個人との間の書面による合意を通じて）力量のある要員によって実施し、管理するようにしなければならない。【5.3 c)】

備考：航空宇宙品質マネジメントシステム審査員とは、SJAC 9104-1 にて定義されている審査員である。

- 6.3 認証機関は、この基準で要求される活動のいずれも、アウトソースしてはならず、また、これらの活動を登録事務所以外の事業所（以下、「事業所」という）に展開してはならない。
- また、JIS Q 9100認証について、JAB MS200 A1.1.1に規定されているクリティカルロケーションを使用してはならない。クリティカルロケーションは、IAQG又はJRMCからも認められない。【5.3 c)】

7. 資源に関する要求事項

資源に関する要求事項は、JIS Q 17021-1 によるほか、次による。

7.1 経営層及び要員の力量

- a) 認証機関の経営層は、公平性委員会が、次の要員を、その構成の一部として有することを確実にしなければならない。

航空、宇宙又は防衛分野の産業に関連する業務経験を通じて、航空、宇宙又は防衛分野の産業に継続的に関与している要員（すなわち、航空宇宙製造業／整備業、航空局、航空宇宙業界団体又は同等なものへの関与）。

- b) 認証機関が、公平性委員会を有しないと決定する場合、JIS Q 17021-1に定義されている「適切な利害関係者」の一つは、前a)の要員でなければならない。

【6.4、レゾリューションNo.133】

7.2 認証活動に関与する要員

- 7.2.1 審査員の力量、評価、資格証明及び再資格証明に対する要求事項は、この基準のほか、SJAC 9104-1 7及びSJAC 9104-3による。【7】

- 7.2.2 認証機関は、JIS Q 17021-1、SJAC 9104-3及びこの基準の要求事項に従って、力量があり、かつ、資格証明された審査員を用いなければならない。認証機関が、他のIAQGセクターで資格証明を受けている審査員を用いる場合には、認証

機関は、審査員に対して、（例えば、現地の法規制などについての）適切な追加の教育・訓練を提供するとともに、認証機関の審査員教育・訓練プログラムに従って、当該教育・訓練の記録を維持しなければならない。【6.7 c】

7.2.3 認証機関は、認証の決定に係る、航空、宇宙又は防衛分野に関する力量をもつ要員を持たなければならない。

この役割に要求される最低限の航空、宇宙又は防衛分野の力量は、次の事項に関する知識を有することとして定義される。

- a) JIS Q 17021-1
- b) 認証機関に適用されるSJAC 9104シリーズのすべて
- c) SJAC 9101の適用版
- d) JIS Q 9100
- e) 認証のために組織を審査した審査員のアウトプットを理解し解釈するために必要な、IAQGセクター固有の用語、プロセス、慣行及び製品に関連する要求事項を理解することができる航空、宇宙及び防衛分野の産業に関する十分な深さの知識

認証機関は、JIS Q 17021-1に従って、認証の決定を行う要員の力量の要求事項を文書化し、これらの要求事項を達成していることを実証する記録を維持しなければならない。【6.7 a)、b)】

8. 情報に関する要求事項

情報に関する要求事項は、JIS Q 17021-1によるほか、次による。

8.1 JIS Q 9100の認証文書（以下、「認証文書」という）に対する要求事項は、SJAC 9104-1 8.6によるほか、次による。【8.6】

認証文書には、本協会の認定シンボルを表示しなければならない。

【JRMC12-018】

認証機関は、本協会から認定を受けるまで、いかなる認証文書も、発行してはならない。また、本協会によって、JIS Q 9100に関する認定の授与が決定される前に、組織に対して、いかなる認証文書を発行できることを暗示するような契約上のコミットメント又は別の形で保証することを行ってはならない。【6.2】

8.2 認証機関は、JIS Q 9100審査データをOASIS（Online Aerospace Supplier Information System）データベースに入力することを確実にする責任を持たなければならない。

認証機関は、データベース内の組織の窓口情報、組織に関連するOASIS利用者、データベース内での組織の審査結果への外部からのアクセス、及びOASISデータベースフィードバックを管理するため、組織がOASISデータベース管理者を設置することを確実にしなければならない。

初回の認証審査時には、初回の第2段階審査に入る前に、組織によって、OASISデータベース管理者が特定され、OASISデータベースに登録されていなければならない。また、組織がOASISデータベース管理者を特定し、OASISデータベース内で登録しない限り、認証機関は、認証文書（すわなち、初回認証、再認証、認証の変更）を発行してはならない。

認証機関は、組織がOASISデータベース管理者を維持していない場合には、認証サイクルの期間中に認証を一時停止してもよい、又は再認証の認証文書の発行を遅らせてもよい。【6.7 h)、i)、12.3、JRMC12-018】

また、認証機関は、組織のJIS Q 9100認証を一時停止又は取消した際に、OASISデータベースがアップデートされるように、JRMC12-018に基づき、必要な手続きを行わなければならない。【8.7】

- 8.3 認証機関は、審査報告書、不適合報告書、チェックリスト又は組織特有情報の様式の中のデータは、データを作成、収集、使用する関係者の中で、機密事項（confidential）（一般的には、所有権（proprietary）や守秘事項（sensitive）として参照される）として扱われなければならない。また、認証機関において認証された組織に関するデータを扱う者は、組織の競合者とデータを共有してはならない。しかし、このデータは、適宜、本協会、JRMC、関係省庁及びIAQG OPMTによる審査又はレビューの対象とすることができる。【19.1、19.2】

9. プロセス要求事項

プロセス要求事項は、JIS Q 17021-1 によるほか、次による。

9.1 一般要求事項

認証機関は、この基準に従って、審査した組織に対するJIS Q 9100認証の授与、維持、縮小、一時停止、移転及び取消しに関する手順、ツール及び手法を、認証機関のシステムの中にもたなければならない。【6.7 d)】

- 9.1.1 認証機関は、組織に対する審査プログラムを第1段階審査前に作成し、利用可能としなければならない。また、認証機関は、審査工数に影響を与える組織の重大な変更について、要求された審査プログラムの変更を決定するため、毎年レビューすることを確実にしなければならない。【8.2.4】

- 9.1.2 認証の移転に対する要求事項は、SJAC 9104-1 8.8による。【8.8】

- 9.1.3 審査チーム並びにその選定及び任務に対する要求事項は、SJAC 9104-1 6.12及び8.3による。【6.12、8.3】

- 9.1.4 JIS Q 9100認証構造の特定、及び審査工数の決定に対する要求事項は、SJAC 9104-1 8.1、8.2、8.2.1及び8.2.2による。【8.1、8.2、8.2.1、8.2.2】

9.1.5 審査報告に対する要求事項は、SJAC 9104-1 8.4及び8.5による。【8.4、8.5】

9.1.6 JIS Q 9001認証をもつ組織がJIS Q 9100認証へアップグレードする場合の要求事項は、SJAC 9104-1 8.2.5による。【8.2.5】

9.1.7 認証機関が、認証を一時停止する場合、認証機関と組織との間で、適切な処置の方向について合意しなければならない。処置の方向について合意に至らない場合には、認証機関の適切な異議申立て手順が行使されなければならない。【8.5 b)】

9.2 初回審査及び認証

認証機関は、JIS Q 9100審査についての契約及び審査を実施する前に、審査員がアクセスする対象になり得る機密事項又は輸出入制限を組織に開示すること、また審査サービス契約及び審査計画活動に含めることを確実にしなければならない。この審査員のアクセスに関する開示及び合意事項の記録を維持しなければならない。また、認証機関は、組織の適合性を確認するために十分な深さの審査ができないプロセスを認証範囲に含めてはならない。プロセスが審査できず計画していた認証範囲から除外されるものについては、その除外は、JIS Q 9100の中で許容されるプロセスに限定しなければならない。組織によって有効に文書化されていない場合、認証機関は、プロセスの除外が、許容される除外になっていない場合には、組織の品質マネジメントシステムを認証してはならない。

認証機関は、本協会及び業界監査員所属組織が制約事項をレビューして必要な手配を実施するため十分な時間をもてるように、いかなる計画された組織審査立会に先立ち、本協会及び業界監査員に当該管理対象（制約事項）を連絡することを確実にしなければならない。【6.11】

9.3 サーベイランス活動、再認証及び特別審査

認証機関は、すべてのサーベイランス及び再認証審査の際に、組織の現在のOASISデータベース管理者が特定されていることを検証しなければならない。【6.7 i)】

また、サーベイランス及び特別審査において、審査チームリーダーは、記録された不適合が既存の認証に悪影響を及ぼすかどうかを受審組織に説明しなければならない。【8.5 b)】

10. 認証機関に関するマネジメントシステム要求事項

認証機関に関するマネジメントシステム要求事項は、JIS Q 17021-1による。

なお、認証機関は、最低限6年間、JIS Q 9100認証活動に関係する記録を維持しなければならない。【17.1】

1 1. JRMC の監視活動及び OASIS データベースの運用に関連する要求事項並びに認証機関及び組織の責任

11.1 全般

- a) 認証機関は、発行する認証文書の継続的な完全性と有効性を確実にする責任を有する。【6.7 l)】
- b) 認証機関は、この基準の該当する要求事項が、認証機関と個々の組織との間の法的に拘束力のある合意の一部であることを確実にしなければならない。また、法的に拘束力のある合意が、認証範囲に含まれるすべての事業所に適用していただなければならない。【6.7 m)】
- c) JIS Q 9100 認証を受けた組織は、SJAC 9104 シリーズの JIS Q 9100 プロセスの中に定義されている ICOP スキームの義務、責任及び要求事項に従わなければならない。認証機関は、SJAC 9104-1 18 に規定されている要求事項を組織に指示しなければならない。可能な場合には、それらを契約に含めなければならない。認証を受けた組織がこの要求事項を満たさない場合には、これを原因として ICOP スキーム及び OASIS データベースの登録リストから取消しされなければならない。【18.1、18.2、18.3】
- d) 認証機関は、SJAC 9104-1 6.7 j) に基づいて、苦情／問題解決のプロセスを確立しなければならない。【6.7 j)】
- e) 認証機関は、この基準及び SJAC 9104 シリーズの適用又は実施に関するすべての問題について本協会に照会することができる。本協会は、問題の解決にあたり必要がある場合は、JRMC に照会する。SJAC 9104 シリーズに関する問題の結論は、JRMC による決定が最終となる。

11.2 JRMC の監視活動に関連する事項

- a) JRMC の監視活動に関する事項は、SJAC 9104-2A に記載されている。認証機関は、SJAC 9104-2A に記載される要求事項への適合を確実にしなければならない。【9 a)】
- b) 認証機関は、SJAC 9104-2A 8.3.1 に基づき、本協会が認定した認証機関について ICOP スキームと関係する次の情報を年 1 回、JRMC に報告することに同意しなければならない。
 - 1) 特定された不適合の分類（すなわち、重大、軽微）と件数を含む、直近の認証機関の事務所審査及び事業所審査並びに組織審査立会の実施日。
 - 2) 認定審査におけるいかなる懸念事項の増加傾向と入手可能なパフォーマンス情報（例えば、苦情、一時停止、改善計画）。
- c) JRMC、本協会及び／又は認証機関が適切であると判断した場合、審査員力量の問題に関する、本協会の組織審査立会結果及び関連データが、審査員の資格証明に責任がある審査員資格証明機関と共有されることを受け入れなければならない。【9 c)】
- d) 認証機関は、JRMC 及び本協会による定期的なサーベイランス、更新審査及び立会評価に同意するとともに、JRMC 及び本協会による審査計画プロセスに積

極的に関与しなければならない。【6.7 f)】

- e) 認証機関は、JRMC が本協会の行う認定審査に立ち会うことを受け入れなければならない。【5.1 b)】
- f) 本協会は、ICOP スキームの実施及び維持に係る本協会及び認証機関の記録及び情報すべてに対する「アクセス権」を、アジアパシフィックセクターの IAQG メンバー会社及び該当する監督官庁に提供する。このアクセスには、本協会に対する国際認定フォーラム (IAF) の「相互評価」に関連する情報又は記録が含まれる。認証機関はこの「アクセス権」に同意しなければならない。【5.1 b)、c)】
- g) 認証機関は、要求された場合には、IAQG メンバー会社、本協会及び法規制当局が、当該施設及び記録についてアクセスすることを許容しなければならない。この「アクセス権」には、認証機関による組織審査の立会いを含む。認証機関は、この「アクセス権」が、認証機関の依頼者の施設及び関係する記録に対して、契約要求として展開されることを確実にしなければならない。【6.7 g)】
- また、認証機関は、本協会が認定している認証機関が運営するすべての国において、認証機関が依頼者との間で、この「アクセス権」に関して法的に拘束力のある取決めを持つことを確実にしなければならない。この取決めには、本協会による組織審査立会及び業界 (OP) 監査員によるオーバーサイトを含めなければならない。また、認証機関は、レゾリューション No.136 のすべての要求事項を満足しなければならない。

なお、本協会は、認定審査の実施を妨げるようなアクセス権の制限事項を特定する。本協会は、制限事項を特定した場合、認定した及び認定を申請する認証機関に対して、これを通知する。【レゾリューション No. 136】

11.3 OASISデータベースの運用に関連する事項

認証機関及び組織は、OASIS データベースのフィードバックプロセスについて、SJAC 9104-1 14 に基づき運用するものとする。また、この基準、SJAC 9104-1 12 及び JRMC12-018 に基づき、データ入力を含む、OASIS データベースの運用に関する活動を行わなければならない。

なお、OASIS データベース中のデータの正確さに対する責任は次表による。

【6.7 h)、12、14】

データ区分	責任
組織	組織
審査及び認証	認証機関
審査員	審査員

附則：第 14 版は、2020 年 6 月 5 日以降、JAB 200 を適用する認定審査に適用する。

改定履歴（公開文書用）

版番号	改定内容概略	発行日	文書責任者	承認者
1	新規発行	2007-5-11	ASプログラ ムマネジャ ー	MS技術委 員会
	(中略)			
8	<ul style="list-style-type: none"> ・航空宇宙スキーム関連の発行文書の反映(2.) ・認証文書へのJAB認定シンボルの表示の規定の導入(8.1) ・その他 	2014-4-4	MSマネジャ ー	MS技術委 員会
9	<ul style="list-style-type: none"> ・JIS Q 9100:2016、SJAC 9101F、JIS Q 17021-1改正への対応 ・その他、引用文書の最新化ほか 	2016-10-1	AS-QMS PM	MS技術委 員会
10	<ul style="list-style-type: none"> ・IAQG OPMT ICOPレゾリューションへの対応 ・JRMC 12-018最新版を適用するよう に見直し 	2017-4-1	AS-QMS PM	MS技術委 員会
11	<ul style="list-style-type: none"> ・JAB MS301～MS306の廃止を反映(2、5.1、9.1.2 b)) ・JAB MS201箇条5.1 b)を要求事項としてJAB MS101に明示(6) ・SJAC 9104-2A箇条8.3.1を展開(11.2 b)) 	2019-4-1	MSマネジャ ー	MS技術委 員会
12	<ul style="list-style-type: none"> ・IAQG OPMT ICOPレゾリューションへの対応（IAF MD4、SR003に係る規定を見直し） ・IAQG OPMT ICOPレゾリューションを満たすことの要求明確化 ・その他、編集上の修正 	2019-07-19	MSマネジャ ー	技術部長
13	<ul style="list-style-type: none"> ・JAB MS200改定、JAB MS201及びIAF MD3廃止に伴う見直し 	2020-03 -26	MSマネジャ ー	技術部長
14	<ul style="list-style-type: none"> ・関係文書を引用文書に見直す他、編集上の見直し 	2020-05-29	MSマネジャ ー	技術部長

公益財団法人日本適合性認定協会

〒108-0014 東京都港区芝 4 丁目 2-3

NMF 芝ビル 2F

Tel.03-6823-5745 Fax.03-5439-9586

本協会に無断で記載内容を引用、転載及び複製することを固くお断りいたします。